

敦賀市教育振興基本計画

平成28年9月

敦賀市教育委員会



敦賀市教育大綱（概要版）

—教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策—

教育目標 ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

基本理念

「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。



ふるさと敦賀の花「はぎ」

基本方針

(1) 学校教育の充実

- 施策 ① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進
- 施策 ② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進
- 施策 ③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進
- 施策 ④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進
- 施策 ⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進
- 施策 ⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進
- 施策 ⑦ 児童・生徒数や社会の変化に対応した学校の整備
- 施策 ⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び指導力の向上



ふるさと敦賀の木「まつ」



ふるさと敦賀の鳥「ユリカモメ」

(2) 社会教育の充実と活性化

- 施策 ⑨ 活力ある地域社会の形成
- 施策 ⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進
- 施策 ⑪ 社会教育施設の整備・充実
- 施策 ⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成

(3) 文化の振興・支援

- 施策 ⑬ 文化意識の向上
- 施策 ⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実
- 施策 ⑮ 文化財の保護・支援
- 施策 ⑯ 文化財の活用の推進

(4) スポーツの振興及び推進

- 施策 ⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興
- 施策 ⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興
- 施策 ⑲ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進
- 施策 ⑳ スポーツ施設の整備



敦賀市公認キャラクター「よっしー」

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し

知性に富み

心豊かで

健康な人の育成



気比の松原



野坂山



敦賀港

目 次

第 1 部 総論

- 1 本市が目指す教育の姿……………P. 1
- 2 計画の趣旨……………P. 1
- 3 計画期間……………P. 1
- 4 計画の実施体制……………P. 1
- 5 計画の構成図……………P. 2

第 2 部 各論

- 基本方針（1）学校教育の充実……………P. 3～11

◆ 現況と課題

- 幼児教育……………P. 3
- 学校教育……………P. 3～4
- 英語教育……………P. 5～6
- 特別支援教育……………P. 6～7
- 健康・安全教育……………P. 7
- いじめ・不登校……………P. 8～9
- 学校の整備……………P. 10
- 教職員の資質向上……………P. 10

◆ 目指すべき方向性

- 基本施策① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進……………P. 3
- 基本施策② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進……………P. 4～5
- 基本施策③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進……………P. 6
- 基本施策④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進……………P. 7
- 基本施策⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進……………P. 8
- 基本施策⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進……………P. 9
- 基本施策⑦ 児童・生徒数や社会の変化に対応した学校の整備……………P. 10
- 基本施策⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び
指導力の向上……………P. 11

- 基本方針（2）社会教育の充実と活性化……………P. 12～15

◆ 現況と課題

- 社会教育……………P. 12

青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 14

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑨ 活力ある地域社会の形成・・・・・・・・P. 13
基本施策⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進・・・・・・・・P. 13
基本施策⑪ 社会教育施設の整備・充実・・・・・・・・P. 13～14
基本施策⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成・・・・・・・・P. 15

基本方針（3）文化の振興・支援・・・・・・・・P. 16～23

◆ 現況と課題

文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・P. 16
文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・P. 17～18
指定文化財一覧・・・・・・・・P. 20～23

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑬ 文化意識の向上・・・・・・・・P. 16
基本施策⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実・・・・・・・・P. 16～17
基本施策⑮ 文化財の保護・支援・・・・・・・・P. 18
基本施策⑯ 文化財の活用の推進・・・・・・・・P. 18～19

基本方針（4）スポーツの振興及び推進・・・・・・・・P. 24～27

◆ 現況と課題

子どもたちの体力・運動能力、運動習慣・・・・・・・・P. 24
運動部活動・スポーツクラブ・・・・・・・・P. 24～25
運動・スポーツの実施・・・・・・・・P. 25
本市及びわが国を取り巻くスポーツ振興の状況・・・・・・・・P. 25～26

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興・・・・・・・・P. 26
基本施策⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興・・・・・・・・P. 26
基本施策⑲ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進・・・・・・・・P. 27
基本施策⑳ スポーツ施設の整備・・・・・・・・P. 27

敦賀市教育委員会委員名簿・・・・・・・・P. 28

敦賀市教育力向上会議委員名簿・・・・・・・・P. 28

計画の策定経過・・・・・・・・P. 29

第 1 部 総論

1 本市が目指す教育の姿

基本理念

「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。

2 計画の趣旨

本計画は、教育基本法第 17 条第 2 項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、平成 28 年 3 月に敦賀市が策定した「敦賀市教育大綱」に沿って、講ずべき具体的な施策を定めるものです。

3 計画期間

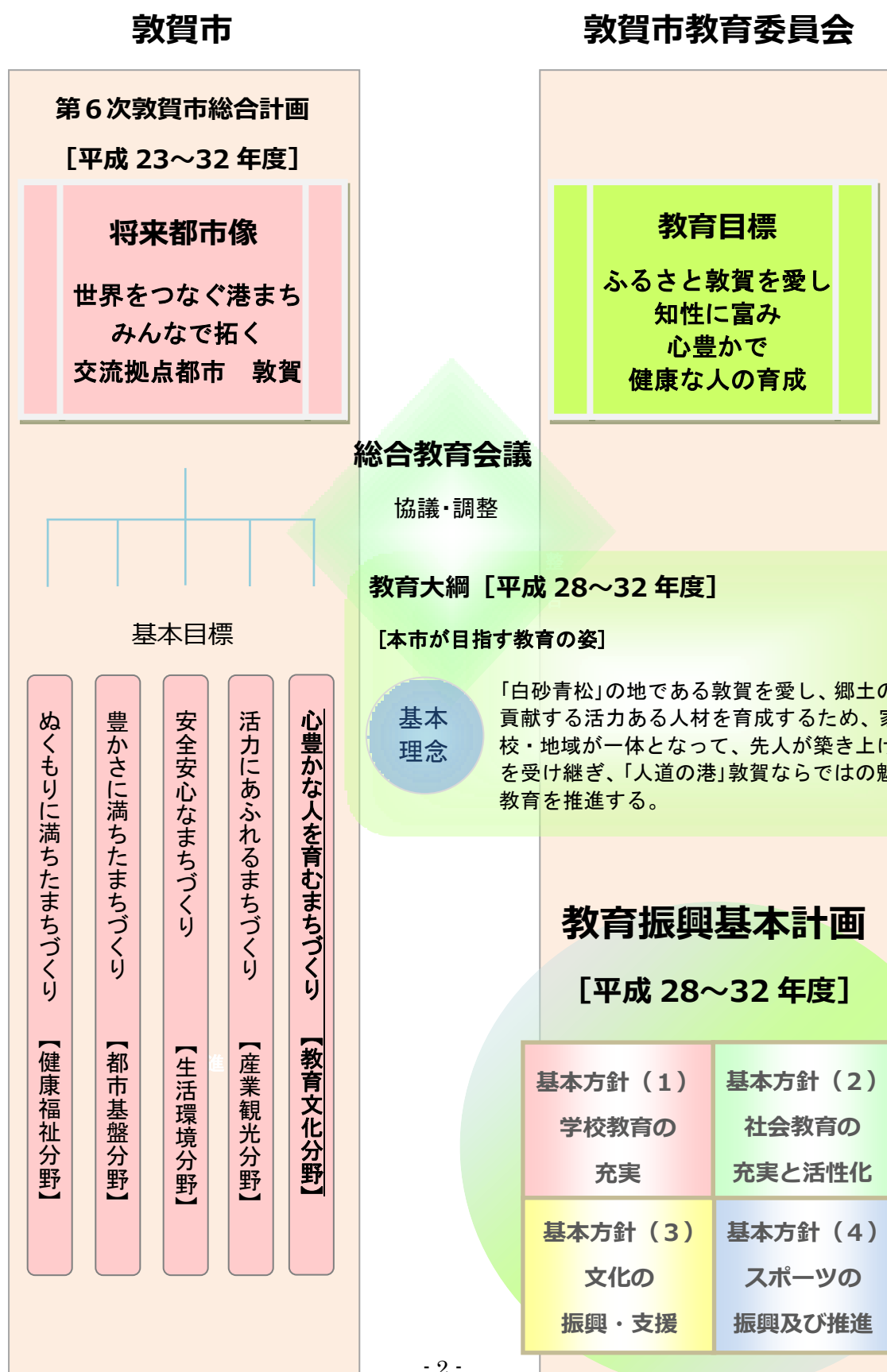
本計画の期間は、第 6 次敦賀市総合計画及び敦賀市教育大綱との整合性を図るため、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間とします。

主体	計画名称	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)
市	市第6次総合計画	H23					次期計画期間
	市教育大綱						
	市教育振興基本計画						
県	県教育振興基本計画	H27					次期計画期間
国	第2期教育振興基本計画	H25	次期計画期間				

4 計画の実施体制

敦賀市教育委員会は、本計画を推進するため、計画内容の周知に努めるとともに、年度ごとに進行管理を行い、その結果を点検・評価します。

5 計画の構成図



第2部 各論

基本方針（1）学校教育の充実

幼児教育

◆ 現況と課題

幼児期は、学びの芽生えを育み、学びに向かう力を培う大切な時期となります。本市では、平成25年度から、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る「幼保小ブリッジング事業」を一部の小学校区から開始しました。

また、平成27年4月に策定された「福井県保幼小接続カリキュラム」に合わせ、本市では、スムーズな接続を目指した幼児教育と小学校教育の指導者協議会を年間3回実施し、接続の内容充実に努めています。

今後は、5領域^{※1}の内容等を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を、幼児教育と小学校教育に携わる指導者が共有し、接続の一層の強化を図ることが課題です。

◆ 目指すべき方向性

基本施策① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進

- 幼児教育における「学びの芽（言葉、数、自然・科学等）」が、小学校の多様な学びを促す活動となるよう、子どもの発達や学びの連続性を保証する教育を進めます。
- 1日保育体験^{※2}等、保護者の保育参加、園行事を通じた保護者や地域住民の参加型事業の推進によって、幼児教育における親子・地域との豊かな関係づくりを進めます。

学校教育

◆ 現況と課題

これまでの全国学力・学習状況調査及び市学力調査の結果から、本市の子どもたちの良好な点として、毎日の宿題をやりとげており、自分の力をできるだけ伸ばしたいと考えていることが明らかになりました。

一方で、自分の考えや意見を分かりやすく相手に伝えることを苦手と感じている子どもが多く、話し合い、教え合いをする学習活動を通し、例えば、国語科では「分かったことをまとめ、発表すること」、算数・数学科では「筋道を立てて、ものごとを考えること」に改善すべき課題があることが分かりました。

※1 5領域：幼児教育の「ねらい」と「内容」を発達の側面からまとめたもので、心身の健康に関する領域「健康」、人とかかわりに関する領域「人間関係」、身近な環境との関わりに関する領域「環境」、言葉の獲得に関する領域「言葉」、感性と表現に関する領域「表現」からなる。

※2 1日保育体験：保護者や祖父母等が、保育所・幼稚園・認定こども園でわが子と過ごすことで、先生の子どもたちへの関わり方や、教育の様子を間近に見て家庭での育児に反映でき、年齢に応じた子ども達の成長を実感することで、子どもの個性や発達段階での育児に関する不安や悩みを解消する効果が期待できる。

また、こつこつと繰り返し学習することを苦手と感じている傾向があり、家庭・学校教育において「自ら学ぶ力」を育てる必要があります。

さらには、家庭におけるテレビ・ゲーム・携帯電話等の1日あたりの利用時間が比較的長く、本や新聞を読む割合が低いことから、生活面において改善すべき課題が見られます。このような現況に対して、本市では、平成16年度から、すべての小中学校に学校図書館支援員を配置し、学習センターとしての機能を重視した学校図書館の充実を進めています。また、平成24年度から、課題となる部分の補強教材を開発し、すべての小中学校の授業に取り入れてきました。

そして、平成28年4月には、学びのつながりをより明確にした「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」を策定し、幼児教育から義務教育で関連する内容を効果的につなぐ教育を進めているところです。

■学力・学習状況

○「おおむね良好」と捉える調査結果

(単位:%)

カテゴリー	質問内容	校種	本市の肯定的な回答 (全国比)			
			H24	H25	H26	H27
家庭学習力	宿題をきちんとやりとげている。	小5	92.4 (+0.2)	88.0 (-3.1)	89.6 (-0.8)	89.5 (-2.7)
		中2	84.7 (+2.2)	84.8 (+1.8)	82.0 (+2.0)	84.7 (+0.4)
社会的実践力 自己成長力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	小5	90.5 (-0.5)	91.1 (-0.7)	93.0 (+1.1)	89.0 (-3.0)
		中2	92.9 (+0.9)	93.1 (+1.9)	93.2 (+1.2)	92.8 (+0.7)

●「課題」と捉える調査結果

(単位:%)

カテゴリー	質問内容	校種	本市の肯定的な回答 (全国比)			
			H24	H25	H26	H27
社会的実践力 問題解決力	自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。	小5	54.2 (-2.1)	56.5 (-1.4)	56.5 (-2.4)	54.8 (-6.7)
		中2	42.0 (-2.4)	45.8 (-1.0)	41.2 (-4.9)	41.4 (-6.9)
社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	小5	58.3 (-1.5)	58.0 (-4.6)	56.3 (-7.3)	54.3 (-11.2)
		中2	54.2 (-0.1)	56.0 (-1.2)	46.7 (-8.4)	52.8 (-6.9)
学びの基礎力 豊かな基礎体験	本や新聞を読んでいる。	小5	65.6 (-4.9)	69.4 (-2.3)	69.3 (-2.6)	64.6 (-6.6)
		中2	58.6 (-8.6)	60.8 (-8.8)	57.1 (-5.7)	49.0 (-16.1)

[出典]平成24年度～27年度 市学力調査「学習意識調査の結果分析」

◆ 目指すべき方向性

基本施策② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進

○「ふるさと敦賀」に誇りや愛着を持ち、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となり、子どもたちの好奇心につながるような「ふるさと素材」を活かした教科学習や体験学習を促進します。

○子どもたちの社会性を育み、学力の向上を目指すため、幼児教育から中学校

修了までの学びをつなぐ「敦賀市『知・徳・体』充実カリキュラム（仮称）」を作成するとともに、中学校区での小中一貫教育を推進します。

○授業に関連した読書活動を推進するため、すべての小中学校に学校図書館支援員を継続的に配置します。

○自他を思いやる心や規範意識を育て、家庭や地域との連携を図りながら、「人道の港」敦賀ならではの道徳教育を充実します。

○地域の企業や高等学校等との連携を図り、「ふるさと敦賀」に貢献しようとする子どもたちのキャリア意識を醸成します。



修学旅行先でのふるさとPR活動



学校図書館での読書風景

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
学校と地域が連携し、地域人材を活用することにより、ふるさと学習に興味を持つ子どもたちを増加させます。 (質問紙「ふるさと学習には興味を持って取り組んでいる。」)	・小学校 50.2% ・中学校 33.4%	・小学校 55.0% ・中学校 40.0%
相手に分かりやすく伝えるための表現力を高めます。 (質問紙「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える。」)	・小学校 54.8% ・中学校 49.0%	・小学校 60.0% ・中学校 54.0%
授業内容と関連した推薦図書リストを作成・活用し、すすんで読書をする子どもたちを増加させます。 (質問紙「本や新聞を読んでいる。」)	・小学校 64.6% ・中学校 49.0%	・小学校 70.0% ・中学校 54.0%

英語教育

◆ 現況と課題

本市では、平成21年度から、外国語活動支援員を全小学校に配置し、5・6年生時に実施される外国語活動を年間35時間、すべて学級担任とのチーム・ティーチングによって指導してきました。

今後は、中学校配置ALTとの交流等、英語を話す機会を増やすことにより、

「話す」「書く」「聞く」「読む」4技能を着実に伸ばし、実践的な英語を身に付ける必要があります。

◆ 目指すべき方向性

基本施策③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進

- 小学校において、「使える」英語の導入部としてALT^{※3}と学級担任とのチーム・ティーチング^{※4}による授業を充実します。
- 「話す」「書く」「聞く」「読む」4技能と実践的な英語を身に付けるため、中学校において、オールイングリッシュによる授業率を高めます。
- 英語指導体制を充実するため、小学校教員と中学校英語教員との授業交流、中学校配置ALTによる小学校訪問を拡充します。
- 中学校と高等学校英語教員が共同で「CAN-DOリスト^{※5}」を作成し、全中学校において活用します。



ALTとの英語の授業

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
小学校における外国語活動の授業においてALTとのデモンストレーションを実施することにより、外国語活動が楽しいと感じる子どもたちを増加させます。(質問紙「外国語活動の授業が楽しい」)	—	80%

特別支援教育

◆ 現況と課題

わが国や国際社会において、障がいをもつ人もたない人が、それぞれの多様性の中で協調・協働・合意等を通して共に歩んでいく「共生社会の形成」が求められています。そして、教育現場では、その実現に向けインクルーシブ教育システム^{※6}の構築が進められています。

本市においては、個々のニーズに応じた特別支援教育の推進に向け、就学前の早期から小中学校において、保護者との面談等を行い、一人ひとりに応じた

※3 ALT：Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国語指導助手。

※4 チーム・ティーチング：複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て指導する方式。

※5 CAN-DOリスト：中学校・高等学校の卒業時及び各学年終了時に、英語を使って何ができるかを技能別に記したものの。

※6 インクルーシブ教育システム：人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。(障害者の権利に関する条約 第24条)

適切な支援を行える環境づくりに努めています。

また、特別支援学校との体験型交流事業に参加する小中学校は、増加傾向にあります。このことから、個別の支援及び指導を充実するとともに、特別支援学級や通級指導教室と学年・学級との交流や特別支援学校と小中学校との交流及び共同学習等を通して共に歩んでいく基礎を、学校教育において育成することが必要です。

◆ 目指すべき方向性

基本施策④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進

- きめ細かな特別支援教育を進めるため、保護者と連携し、教育的ニーズに合わせた個別の支援及び指導の充実を図ります。
- 全小中学校において、管理職及び特別支援コーディネーターを中心とした特別支援教育を推進する校内体制を確立し、インクルーシブ教育システムを構築します。
- 実体験を通した子ども同士の相互理解を深めるため、交流事業を推進します。

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
小中学校内における特別支援学級や通級指導教室と学年・学級における相互の交流学習を推進します。 (交流の年間総時数の割合)	・小学校 35% ・中学校 40%	・小学校 40% ・中学校 45%

健康・安全教育

◆ 現況と課題

本市の児童生徒の体力は全国に比べて高い状況にあり、日頃の業間運動や体育授業での体力づくりの成果が表れているといえます。しかし、投力や握力、柔軟性については、今後も引き続き強化をしていく必要があります。

また、健康面においては、「早寝・早起き、しっかり朝食」を基本とした規則正しい生活習慣を身に付けさせることや、学校給食を通じた食育を進めてきました。本市の児童生徒の視力1.0未満の割合とむし歯保有率は、全国に比べて高い状況にあるため、今後もさらに近視を予防する生活習慣の徹底や学校における歯みがきの定着と歯科受診の勧奨を進めていく必要があります。

学校安全・防災においては、全学校が学校安全計画を策定し、通学路を含めた施設・設備の安全点検を実施しています。また、危機管理マニュアルを作成し、地震や津波、原子力災害に備えた防災訓練を実施しています。今後も安全教育を推進し、様々な状況を想定した訓練を実施することで、児童生徒自身の危険予測能力や危険回避能力の育成に努めることが必要です。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進

- 基本的な生活習慣の定着を図るとともに、目と歯の健康や運動器の発達を守る取り組みを促進します。
- 体力・運動能力調査を活用し、計画的な体力づくりを推進するとともに、発達段階に応じた運動の楽しさを体感できる体育教育を進めます。
- 食の安全を確保するとともに、地場産食材を利用した給食を促進し、「生きた教材」として食に関する指導に取り組みます。
- 学校規模や地理的条件等、実情に合わせた実践的な防災訓練等の実施や、子どもたち自身が自らの安全について考える機会をつくり、安全意識の向上に努めます。



食に関する指導



歯みがきの授業

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
学校歯科医によるキッズブラッシング教室や小学校1・4年生対象の秋の追加健診を実施して、う歯罹患率を減少させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校55.5% (処置完了19.6%) ・中学校45.3% (処置完了15.1%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校54.0% (処置完了29.0%) ・中学校44.0% (処置完了28.0%)

いじめ・不登校

◆ 現況と課題

本市におけるいじめの認知件数は近年減少傾向にあるものの、パソコンやスマートフォンによるネットいじめの割合が増加していることから、適切なインターネットの利用を促進するとともに、今後も児童生徒によるいじめの自己チェック、保護者へのアンケート等、未然防止、早期発見、早期対応の徹底が大切です。

また、不登校の児童生徒数は、いずれの校種においても全国平均を下回っています。引き続き、未然防止策を推進するとともに、早期対応に努める必要があります。

■生活意識の状況

カテゴリー	質問内容	校種	本市の肯定的な回答 (全国比)			
			H24	H25	H26	H27
学びの基礎力 豊かな基礎体験	家でゲームをするときは家の人と時間を決めて いる。 ※中学校は「携帯電話やスマートフォンで電話 やメールをするとき」	小 5	66.9 (-2.0)	68.4 (+0.1)	89.6 (-0.8)	89.5 (-2.7)
		中 2	66.6 (+8.8)	57.5 (-1.2)	58.6 (+1.2)	59.4 (+1.2)
学級力 規則力	校外でも人の迷惑にならないよう考えて行動し ている。	小 5	83.1 (+3.3)	83.9 (+0.9)	89.6 (-0.8)	78.9 (-5.5)
		中 2	80.5 (+10.7)	85.3 (+2.8)	84.6 (+2.8)	83.9 (-0.4)
学級力 規則力	あいさつ、服装、持ち物など、学校のきまりを 守っている。	小 5	73.2 (+3.0)	73.9 (-0.8)	83.1 (+0.3)	68.2 (-7.7)
		中 2	77.8 (+9.1)	85.7 (-1.0)	88.5 (+2.7)	87.5 (-0.8)
学級力 共生力	友だちをばかにしたり、からかったりせず、心や 命を大切にしている。	小 5	71.0 (+5.0)	77.9 (+1.7)	82.3 (+7.2)	71.7 (-4.6)
		中 2	75.8 (+16.0)	82.1 (+3.9)	81.4 (+4.7)	79.4 (+0.7)

[出典]平成24年度～27年度 市学力調査「学習意識調査の結果分析」

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進

- 学校組織として、「いじめ対策委員会」や「いじめ対応サポート班」等の実効性のある生徒指導体制を確立し、各学校の「いじめ防止基本方針」等に基づく未然防止、早期発見、早期対応に努めます。
- インターネットや携帯型情報端末の健全な活用のため、敦賀市Student連合等の児童生徒の自主的な活動を支援するとともに、PTAや関係機関との連携を図ります。
- 小中一貫教育を推進し、小中学校間の情報の共有化と指導の一貫性を図ります。
- 不登校等の未然防止のため、小学校低学年からの支援とともに、日常的に家庭・地域、適応指導教室、警察や児童相談所等の関係機関との協力連携を図ります。

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
友だちをばかにしたり、からかったりせず、心や命を大切に する子どもたちを増加させます。 (質問紙「友だちをばかにしたり、からかったりせず、 心や命を大切にしている。」)	・小学校71.7% ・中学校79.4%	・小学校90.0% ・中学校90.0%
理由を問わず、連続3日間の欠席で家庭訪問を実施し、 不登校の出現率※7を減少させます。	0.55%	0.50%

※7 不登校の出現率：市内小中学校の児童生徒総数のうち、不登校の児童生徒数の割合

学校の整備

◆ 現況と課題

本市では、子どもたちの効果的な学習を支援するため、平成21年度から、すべての小中学校に大型テレビ、インターネット接続のパソコンを常設してきました。また、平成24年度から小中学校にデジタル教科書を導入し、視覚支援の充実に努めてきました。

そして、すべての校舎において耐震補強工事を終えるとともに、学級教室にエアコンを設置し、安全で快適な学習環境を整えました。

今後は、児童生徒数の変動等による学校の再編や通学区域について検討していく必要があります。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑦ 児童生徒数や社会の変化に対応した学校の整備

- 子どもたちの効率的な学習を支援するため、遠隔授業等のICT機器等の活用を進めます。
- 児童生徒数の変動等による学校の再編、通学区域の適正化に努めます。



ICT機器を活用した授業

教職員の資質向上

◆ 現況と課題

本市の教職員の年齢構成の大きな特徴は、40歳代の割合が、県内他市町よりも高いことが挙げられます。また、小中学校ともに、この10年間で多くのベテラン教職員が退職し、若手教職員の増加が予想されます。

このような教職員の年齢構成の中で、さらなる教育の充実を進めるためには、40歳代の教職員が若手教職員の「目指す教師像」となり、ミドルリーダーとして学校教育の主軸になっていくことが求められています。

そこで、中堅教員を中心に授業力やリーダー性を育成する研修会を開催し、校種を超えた交流を通して、資質能力の向上を目指す必要があります。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び指導力の向上

- 教職員の資質及び指導力の向上のため、外部講師と連携した研修を計画的に実施します。
- 児童生徒の発達段階に応じた学習指導を進めるため、小中教員の協働によって、小中一貫教育のカリキュラムを作成し、授業改善を進めます。
- 「やさしい日本人がいた場所」「人道の港」敦賀としての人権教育を推進するため、教職員の国際的視野の拡大と人権意識の向上を図ります。



第2回「知・徳・体」充実プラン研修会
白梅学園大学・大学院 無藤 隆 教授
(平成28年6月17日)



第3回「知・徳・体」充実プラン研修会
東京大学大学院 秋田 喜代美 教授
(平成28年9月25日)

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
教育委員会等の研修（通信型、キャリア別等）を受講する教職員の割合を高めます。	40%	65%

基本方針（２）社会教育の充実と活性化

社会教育

◆ 現況と課題

「生涯学習のまちづくり」を推進するため、本市の社会教育施設を、利用者が「気持ちよく」使っていただけるよう、きめ細かな対応を心掛けながら、各種主催事業を企画し運営しています。

一方、人口減少や核家族化の進行等により、地域コミュニティのつながりが希薄になる中で、社会教育施設は、多様な役割を果たすことが求められています。

社会教育施設、特に公民館や図書館が地域のつながりを再生する場や地域ぐるみで教育を支える協働の拠点として、誰もが気軽に立ち寄り、集うことのできる施設づくりが重要となります。

■生涯学習施設利用状況等 [平成27年度]

平成28年3月31日現在

事業名	センター		東浦		北		南		西		東郷		中郷		愛発		粟野		松原		累計		
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
主催者事業	各種会議	3	39	3	25	6	38	8	76	2	15	2	9	8	46	2	14	3	20	12	251	49	533
	各種学級・教室等	0	0	5	20	148	1,927	38	854	68	1,437	16	367	3	53	72	362	63	1,346	14	291	427	6,657
	各種講座	185	2,681	2	78	0	0	1	23	0	0	0	0	28	477	0	0	43	698	1	13	260	3,970
	各種自主学习習教室	384	3,706	82	422	175	2,865	266	2,635	664	9,359	202	2,445	132	993	0	0	449	6,224	371	4,588	2,725	33,237
	各種大会等	0	0	0	0	4	64	2	204	0	0	0	0	4	549	0	0	13	1,934	1	17	24	2,768
	各種研修会等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	0	0	2	55	3	71
	その他	0	0	8	122	5	1,000	72	475	1	130	11	527	8	115	3	128	96	5,512	42	592	246	8,601
小計	572	6,426	100	667	338	5,894	387	4,267	735	10,941	231	3,348	183	2,233	78	520	667	15,734	443	5,807	3,734	55,837	
施設利用	行政関係団体	30	697	10	242	69	1,300	45	821	55	1,630	347	8,232	39	1,745	11	196	65	6,811	16	352	687	22,026
	教育関係団体	0	0	3	81	65	733	10	312	10	308	16	316	13	303	1	8	19	1,072	58	397	195	3,530
	社会教育関係団体	88	1,400	35	758	150	2,146	39	873	125	2,415	44	646	133	2,063	223	5,140	147	2,312	182	1,776	1,166	19,529
	社会福祉関係団体	0	0	8	268	21	800	11	202	75	2,053	45	713	91	1,057	11	109	56	1,484	36	777	354	7,463
	地域振興関係団体	11	165	15	861	7	448	3	39	63	1,236	10	145	131	2,284	14	239	54	8,408	33	363	341	14,188
	社会体育関係団体	0	0	4	45	0	0	13	230	25	374	324	6,695	9	113	0	0	15	250	18	320	408	8,027
	その他	229	3,357	34	317	429	3,513	230	3,193	564	4,804	852	8,783	196	3,524	298	3,861	773	20,121	103	1,298	3,708	52,771
小計	358	5,618	109	2,572	741	8,940	351	5,670	917	12,820	1,838	25,530	612	11,089	558	9,553	1,129	40,458	446	5,283	6,859	127,534	
合計	930	12,045	209	3,239	1,079	14,834	738	9,937	1,652	23,761	1,869	28,878	795	13,322	636	10,073	1,796	56,192	889	11,090	10,593	183,371	
開館日数	296		296		296		296		297		296		296		296		296		296		296		2,961
1日平均	3.1	40.7	0.7	10.9	3.6	50.1	2.5	33.6	5.6	80.0	6.3	97.6	2.7	45.0	2.1	34.0	6.1	189.8	3.0	37.5	3.6	61.9	
館外活動	主催事業	12	609	4	103	0	0	4	409	2	311	0	0	1	20	0	0	3	190	0	0	26	1,642
	関係団体	0	0	21	1,745	5	1,007	10	1,363	12	847	0	0	25	2,193	3	257	41	2,948	38	4,228	155	14,588
小計	12	609	25	1,848	5	1,007	14	1,772	14	1,158	0	0	26	2,213	3	257	44	3,138	38	4,228	181	16,230	
総計	942	12,654	234	5,087	1,084	15,841	752	11,709	1,666	24,919	1,869	28,878	821	15,535	639	10,330	1,840	59,330	927	15,318	10,774	199,601	

■生涯学習施設利用経過状況

(単位：回・人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
利用回数	10,778	10,253	10,347	10,551	10,688	10,774
利用人数	200,439	195,500	199,534	192,614	205,560	199,601

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑨ 活力ある地域社会の形成

- 地域のつながりに重点を置き、地区公民館を中心として、地区団体等の自主的な活動を支援するとともに、地域の実情に応じた事業を企画・実施します。
- これまで「地域の知の拠点」としての役割が重視されてきた図書館に、「まちづくりの拠点」としての機能を加え、仕事や子育てなど市民生活の豊かさに繋がる情報発信等を行います。



公民館「放課後子ども教室」



図書館「おはなし会」

基本施策⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進

- 生涯学習への参加や参画を促進するため、社会情勢、地域の課題、住民の興味を把握し、それに応じた学習の機会を設けます。
- 高齢化が進む中、誰もが充実した生活を送ることができるよう、地域の高齢者学級や各種の自主学習教室等、自己研さんの意欲に応えるための環境を整えます。
- 青少年の非行防止を図るため、家庭教育相談や就学時健康診断における家庭教育講座等の機会を利用して、家庭教育を充実します。
- 差別のない明るいまちをつくるため、市民の人権意識の高揚を図るとともに、指導者の資質の向上を目指します。

基本施策⑪ 社会教育施設の整備・充実

- 老朽化が進む施設を多くかかえる中、社会教育活動の場を十分に確保するため、計画的な施設の補修や整備による充実を図ります。
- 一層の生涯学習の推進を図るため、利用者のニーズに配慮した施設の利用時間の設定、利用しやすい雰囲気づくり、接遇のほか、資料やプログラムの充実に努めます。

■社会教育施設等一覧

施設名等	所在地	構造	建築年月日 (開館)	建物延べ面積 (㎡)	建設費 (千円)	敷地面積 (㎡)
生涯学習センター	東洋町1-1 (プラザ'萬象)	鉄骨造2階建	H15.3.30 (H15.6.1)	465	137,445	-
北公民館	曙町11-91	鉄筋コンクリート造3階建 (1階幼稚園)	H2.2.15 (H2.4.1)	797	143,367	1,697
南公民館	本町二丁目1-20	鉄筋コンクリート造3階建	H4.4.1 (H4.4.14)	1,780	291,703	1,825
西公民館	三島町二丁目19-8	鉄筋コンクリート造3階建	S55.5.31 (H4.2.1)	2,066	322,981	2,737
東浦公民館	五幡32-8-1	鉄筋コンクリート造2階建	H18.3.10 (S22.4.1)	880	343,959	2,649
東郷公民館 (東郷コミュニティセンター)	井川33-12	鉄筋コンクリート造2階建	H14.6.28 (S25.7.1)	1,998	608,465	11,924
中郷公民館	羽織町36-1	鉄筋コンクリート造(一部 SRC法)2階建	H22.7.27 (S21.12.17)	1,082	350,144	4,086
愛発公民館	疋田37-1	鉄筋コンクリート造3階建 (1・2階)	H19.12.25 (S25.9)	3,866	60,449	20,080
栗野公民館	御名53-19	鉄筋コンクリート造3階建	H12.8.21 (S21.11.10)	1,998	700,875	6,713
(旧)松原公民館	松島町二丁目9-19	鉄筋コンクリート造2階建	S50.3.31 (S50.4.1)	685	60,000	4,815
(新)松原公民館	新松島町22-48	鉄筋コンクリート造2階建	H28.9.30 (H28.11.5)	1,330	504,144	4,320
図書館 (視聴覚ライブラリー)	東洋町2-1	鉄筋コンクリート造3階建	H3.8.1 (S17.10)	3,288	987,340	5,316
少年愛護センター	東洋町1-1 (プラザ'萬象)	鉄筋コンクリート造一部2階 建	H2.9.29 (H15.6.1)	(128)	-	-
少年自然の家	野坂80-15	鉄筋コンクリート造2階建	S54.6.30 (S54.8.1)	2,500	383,918	5,675
プラザ'萬象	東洋町1-1	鉄筋コンクリート造一部2階 建	H2.9.29 (H2.11.18)	6,627	2,579,370	10,492

青少年教育

◆ 現況と課題

昨今、本市でも核家族化の進行や夫婦共働きなどによる、家庭での教育力の低下やインターネット接続機器の多様化等により、直接的なコミュニケーションの機会の減少等が、子どもの心の成長を阻害する要因となっています。

警察の統計による少年の非行や不良行為の検挙・補導数は減少しているものの、問題行動の低年齢化が進むとともに、双方向性の高いインターネットツールの使用による様々な問題が発生している状況にあります。

この憂慮すべき事態に対処するため、家庭、学校、地域、行政が一体となって、青少年の健全育成に一層取り組む必要があります。

■敦賀警察署管内の非行少年等の検挙・補導状況

		(単位：人)									
		年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
非 行 少 年	刑法犯	犯罪少年(14歳未満)	57	37	37	59	31	28	19	19	
		触法少年(14歳以上20歳未満)	16	21	21	14	4	21	12	9	
		小計	73	58	58	73	35	49	31	28	
	特別法犯	犯罪少年(14歳未満)	0	0	2	0	1	3	1	1	
		触法少年(14歳以上20歳未満)	2	0	0	1	0	1	0	1	
		小計	2	0	2	1	1	4	1	2	
	ぐ犯少年 ※8		0	0	1	0	0	0	0	1	
	不良行為少年		629	746	634	320	412	303	193	288	
	合計		704	804	695	394	448	356	225	319	

[出典]敦賀地区防犯隊連合会・敦賀地区防犯連絡所協議会
発行「つるがのあゆみ」

※8 ぐ犯少年：将来罪を犯し、または刑罰法令に触れる行為をするおそれがある少年。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成

- 青少年を健全に育成するため、関係団体や地域の方々と連携して、人と人とのふれあい、自然とのふれあいなどを通じ、子どもたちの思いやりや助け合いの心を育む事業を推進します。
- 年間を通じ青少年補導員による補導巡視を行い、青少年が非行に陥らないよう、声かけ活動を行うとともに、子どもたちを取り巻く環境をよりよくするための環境浄化活動や啓発活動を支援します。
- 登下校時等に、子どもの見守り活動を行う団体（見守り隊）と連携し、子どもたちの安全の確保に努めます。



見守り隊

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
各種事業や施設の利用者を増加させます。		
主催事業（講座・自主学習教室等利用者数）	55,837人	70,000人
生涯学習施設※9利用者数 （社会教育関係団体等利用者数）	127,534人	130,000人
図書館利用者数	206,560人	230,000人



社会教育団体「敦賀海洋少年団」



青少年育成敦賀市民大会「環境浄化パレード」

※9 生涯学習施設：生涯学習センター、北公民館、南公民館、西公民館、東浦公民館、東郷公民館、中郷公民館、松原公民館、栗野公民館。

基本方針（３）文化の振興・支援

文化振興

◆ 現況と課題

本市の文化協会加盟者は1,000人を超え、近年は新たなジャンルの加盟団体が参加しているなど、文化活動が多様化しています。

一方で、文化団体会員の高年齢化が進んでおり、各種文化事業における若年層の参加が望まれます。

また、本市にはプラザ萬象、きらめきみなと館等、様々な文化活動に対応できる多様な施設があり、特に市民文化センターは、オーケストラをはじめ各種音楽会を開催できる音響施設を持つ館として、各方面から高い評価を受けています。

そして、近年では、旧大和田銀行本店建物（福井県指定文化財）を活用した敦賀市立博物館が平成27年7月にリニューアルオープンし、郷土に関する歴史展示や美術展示に止まらず、歴史的背景を持つ3階講堂での講演、演奏会等への貸し出しも行っています。

また、みなとつるが山車会館は、年に1度しか行われない敦賀まつりの山車巡行をいつでも見学できる施設として、観光のみならず、学校教育にも活用され、「ふるさと敦賀」の誇りを学習する場となっています。

このように本市には様々な文化施設が設置されていますが、経年により建物や附属設備等の老朽化が進んでいるという課題があります。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑬ 文化意識の向上

- 文化行事への参加を促進するため、市民ギャラリーの開催や団体等の文化活動を支援し、優れた美術・音楽等を市民が鑑賞する機会を増やします。
- 文化施設での展示会の充実や音楽・芸術鑑賞等を通じて、市民が文化に身近に触れる機会を増やします。
- 文化芸術及び科学技術の分野で優れた成績を収めた個人や団体の活動を奨励することにより、一層の文化振興を図ります。
- 次代の市民文化の担い手である小中学生及び高校生が、「ふるさと敦賀」に誇りと愛着を持つことができるよう、文化団体とも連携しながら、文化財や文化活動に接する機会の拡大に努め、文化意識の醸成を図ります。

基本施策⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実

- 市民の芸術文化の向上に資するため、文化施設を円滑に運用します。
- 市民や観光客が快適に利用できるよう文化施設の機能を維持・改善します。また、福井県指定文化財である博物館建物（旧大和田銀行本店）は、博物館

機能と文化財的価値との両立を図ります。



敦賀市立博物館（旧大和田銀行本店）外観



敦賀市立博物館「吉継カフェ」

文化財保護

◆ 現況と課題

本市は、国指定文化財を全国平均の約2倍にあたる18件を有するとともに、総文化財数においても全国平均の約3倍となる190件を有しており、文化財が豊富なまちといえます。

文化財建造物を将来にわたって適正に保存するためには、周期的な修理が必要です。本市所在の指定文化財の多くは、現在、修理を必要とする時期を迎えています。例えば、氣比神宮大鳥居（重要文化財）は正保2年（1645年）に建立され、明治以降は戦前戦後を含め約30年周期で修理されてきました。前回の修理は昭和61年（1987年）に行われており、既に29年が経過しています。

県内の史跡や名勝は、一乗谷朝倉氏遺跡〔福井市〕、白山平泉寺旧境内〔勝山市〕、若狭国分寺跡〔小浜市〕、松ヶ瀬台場跡〔おおい町〕等で整備事業が行われ、まちづくりや観光への活用が図られています。しかし、本市では文化財を活用するための整備が十分に行われていないのが現状です。

また、地区の祭りなどの無形民俗文化財は、集落の人口減少や生活習慣の変化により、昔ながらの方式で実施することが困難になっており、担い手不足が深刻な問題となっています。

■ 指定文化財の件数

項目	敦賀市	全国平均
国宝・重要文化財数	18件	11件
上記のうち、特にその土地の歴史と切り離せない史跡・名勝数	7件	1.7件
国・県・市指定文化財数	190件	61件

〔出典〕平成28年5月1日現在 国指定等の有形・無形文化財件数、平成27年5月1日現在 都道府県・市町村指定等有形・無形文化財の件数（文化庁）

■主な指定文化財（指定文化財一覧は、20～23ページを参照）



国指定重要文化財(建造物) 氣比神宮大鳥居



国指定重要文化財(建造物) 西福寺阿弥陀堂



国指定史跡 金ヶ崎城跡



国指定名勝 柴田氏庭園

基本施策⑮ 文化財の保護・支援

- 歴史ある伝統文化を未来につなぐため、伝統行事を含めた文化財の広報普及を行います。
- 地域の伝統文化を守り、継承するため、地域の保存団体等を支援するとともに教育普及を進めます。
- 指定文化財等の価値を高めるため、金ヶ崎城跡、柴田氏庭園、氣比神宮大鳥居、西福寺等の指定文化財等を適正に保存・管理し、保護します。
- 地域の宝である文化財の一層の保護を図るため、国・県・市指定文化財の指定数を維持し、さらなる増加を図ります。

基本施策⑯ 文化財の活用の推進

- 文化財の修復整備を進め、さらに活用しやすい環境を整えます。
- 小中学生の校外学習や中学生及び高校生の職業体験等で文化財を学ぶ機会を提供するとともに、研修会等への講師派遣により学校や地域での自主的な歴史・文化財学習を支援します。
- 出土品等を活用し、文化財保護思想への理解と関心を深めます。

○博物館を中心に、郷土の歴史や市内に所在する文化財の研究を深め、展示や教育普及活動に反映します。

○生涯学習、学校教育、観光振興との連携を図り、効果的に情報を発信します。



出土品整理・修復作業
(文化振興課分室)



小学校の校外学習 (向出山1号墳)



中学校のインターンシップ
(市立博物館での体験コーナー準備作業)



高校のインターンシップ
(柴田氏庭園での発掘作業)

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
文化行事参加者を増加させます。	20,161人	33,800人
各種文化施設※10利用者を増加させます。	56,034人	75,000人
市指定文化財の指定数を増加させます。	190件	195件
文化財の活用に向けた整備着手件数を増加させます。	1件	3件以上

※10 各種文化施設：博物館、みなとつるが山車会館、市民文化センター。

■指定文化財一覧

国指定文化財 18件

平成28年6月1日現在

種別	区別名称及び員数	所在地	指定年月日	管理者	備考
国宝	工芸品 朝鮮鐘 1口	常宮	昭和27.11.23	常宮神社	
重要文化財	工芸品 孔雀鍍金経箱 1合	原	平成 5. 1.20	西福寺	
重要文化財	絵画 絹本着色 主夜神像 1幅	原	明治33. 4. 7	西福寺	
重要文化財	絵画 絹本着色 観経变相曼荼羅図 1幅	原	明治33. 4. 7	西福寺	
重要文化財	絵画 絹本着色 阿弥陀如来像 1幅	原	明治34. 8. 2	西福寺	
重要文化財	建造物 氣比神宮大鳥居 1基	曙町	明治34. 3.27	氣比神宮	
重要文化財	建造物 西福寺御影堂 阿弥陀堂 書院及び庫裏 3棟	原	平成20. 6. 9	西福寺	
重要文化財	書跡 西福寺一切経勸進経 25巻	原	大正 3. 4.17	西福寺	
重要文化財	書跡 紙本墨書 般若心経 1巻	原	大正 3. 4.17	西福寺	
重要文化財	典籍 奥の細道(素龍清書本)附 細道伝来記 各1冊	新道	昭和47. 5.30	西村久雄	
重要無形民俗文化財	敦賀西町の綱引き	相生町	昭和61. 1.14	英子大黒綱引保存会	
記念物	史跡 金ヶ崎城跡	金ヶ崎町	昭和 9. 3.13	敦賀市	
記念物	史跡 武田耕雲斎等墓	松島町二丁目	昭和 9.12.28	敦賀市	
記念物	史跡 中郷古墳群	吉河・坂ノ下	昭和63. 3.23	敦賀市他	
記念物	史跡 玄蕃尾城(内中尾山城)跡	刀根・道賀郡長浜市糸島町	平成11. 7.13	刀根生産森林組合 他	伊香郡一長浜市H22.1.1
記念物	名勝 氣比の松原	松原・櫛川	昭和 3. 6.28	農林水産省	
記念物	名勝 西福寺書院庭園	原	昭和 7. 4.19	西福寺	
記念物	名勝 柴田氏庭園	市野々	昭和 7. 4.19	敦賀市	追加平成19.7.26
(記念物)	(特別天然記念物 カモンカ)	(敦賀市全域)	(昭和30. 2.15)	(福井県)	

県指定文化財 30件

種別	区別名称及び員数	所在地	指定年月日	管理者	備考
有形文化財	工芸品 日本刀外装 1口	三島町一丁目	昭和31. 3.12	八幡神社	
有形文化財	工芸品 八十一難経版木 6枚	原	昭和40. 5.18	西福寺	
有形文化財	工芸品 木製加飾腰高障子 12枚	松島町二丁目	平成 6. 5.20	来迎寺	
有形文化財	工芸品 銅鑿口 正平丁酉年(十二年、一三五七)銘 1口	色浜(相生町)	平成26. 3.28	本隆寺 (市立博物館寄託)	
有形文化財	彫刻 木造 釈迦如来坐像 1躯	刀根	昭和55. 3.11	刀根区長	
有形文化財	彫刻 木造 不動明王立像 1躯	御名	平成18. 4.25	宝国寺	
有形文化財	彫刻 木造 毘沙門天立像 1躯	御名	平成18. 4.25	宝国寺	
有形文化財	絵画 絹本着色 観経曼荼羅図(序文) 1幅	原	昭和55. 3.11	西福寺	
有形文化財	絵画 紫絹金銀泥絵 阿弥陀八大菩薩像 1幅	神楽町一丁目	平成12. 3.21	善妙寺	
有形文化財	絵画 絹本着色 放光菩薩像 1幅	原(相生町)	平成28. 3.25	西福寺 (市立博物館寄託)	
有形文化財	建造物 常宮神社本殿・拝所・中門 3棟	常宮	昭和57. 4.23	常宮神社	追加平成21.3.24
有形文化財	建造物 高德寺本堂 1棟	神楽町二丁目	昭和57. 4.23	高德寺	
有形文化財	建造物 旧大和田銀行本店 附 株式会社大和田銀行本店新築工事設計図等 24点	相生町	平成22. 4. 9	敦賀市	
有形文化財	建造物 天満神社 本殿・石の間・拝殿 3棟	栄新町	平成28.3.25	天満神社	
有形文化財	古文書 西福寺文書 1269点	原	平成17. 5. 6	西福寺	
有形文化財	考古資料 深山寺経塚出土品 101点	結城町	平成24.3.23	敦賀市	
民俗文化財	有形民俗文化財 色浜の産小屋 1棟	色浜	昭和50. 6. 3	色浜区長	
民俗文化財	無形民俗文化財 太鼓踊り	池河内諏訪神社	昭和28. 3.19	池河内太郎謡保存会	
民俗文化財	無形民俗文化財 赤崎獅子舞	赤崎八幡神社	昭和37. 5.15	赤崎獅子舞保存会	
民俗文化財	無形民俗文化財 八幡神社の彼岸祭	関八幡神社	昭和37. 5.15	八幡神社彼岸祭保存会	
民俗文化財	無形民俗文化財 相撲甚句	阿曾利根八幡神社	昭和40. 5.18	阿曾相撲甚句保存会	
民俗文化財	無形民俗文化財 野坂だのせ祭り	野坂神社	平成 6. 5.20	野坂だのせ祭り保存会	
民俗文化財	無形民俗文化財 杵見御田植祭り	久豆弥神社 信露貞彦神社	平成20. 2.22	杵見御田植祭り 保存会	
記念物	史跡 穴地藏古墳	櫛川	昭和53.10.11	櫛川区長	
記念物	史跡 立洞古墳(2号墳)	井川	昭和54. 2. 6	坂本裕正 他1名	
記念物	史跡 疋壇城跡	疋壇	昭和29.12. 3	敦賀市	
記念物	史跡 洲崎の高燈籠 1基	川崎町	平成 4. 5. 1	株式会社観光ホテル	
記念物	天然記念物 休岩寺のソテツ 7株	大比田	昭和29.12. 3	休岩寺	
記念物	天然記念物 獺ノ河内のカツラ 1株	獺河内	昭和39. 6. 5	森本俊雄	
記念物	天然記念物 明神崎の自生モクゲンジ 1群	明神崎東海岸	平成 9. 4.25	日本原ノカク電報	

市指定文化財 144件
有形文化財 99件

1	歴史資料	紙本着色 氣比神宮古図	1幅	曙 町	昭和29. 4.25	氣比神宮	
2	彫 刻	木彫 猿田彦面(天文十年紀久次の墨書)	1面	曙 町	昭和29. 4.25	氣比神宮	
3	歴史資料	脇差(伝備前兼光・武田耕雲斎所用)	1口	松原町 (相生町)	昭和29. 4.25	松原神社 (市立博物館寄託)	
4	歴史資料	短刀(菊池千本槍・武田耕雲斎所用)	1口	松原町 (相生町)	昭和29. 4.25	松原神社 (市立博物館寄託)	
5	絵 画	壁面着色 観音像図	1面	松島町二丁目	昭和29. 5.20	来迎寺	
7	絵 画	絹本墨画 風竹図	1幅	原	昭和29. 6.17	西福寺	
9	歴史資料	紙本着色 西福寺古図	1幅	原	昭和29. 6.17	西福寺	
11	彫 刻	木造 聖観世音菩薩坐像	1躯	鋳物師町	昭和29.12.21	鋳物師区長	
12	古文書	秦古文書(正安三年から慶長二年まで)	37通	手	昭和29.12.21	秦 実	追加昭和62.4.9
13	歴史資料	竹杖(松尾芭蕉所用)	1本	本町二丁目	昭和29.12.21	玉井昭三	
16	彫 刻	木造 聖観世音菩薩立像	1躯	山 泉	昭和31. 4. 1	慶林院	
17	絵 画	絹本着色 阿弥陀来迎図	1幅	栄新町	昭和31. 4. 1	真禅寺	
18	彫 刻	能面 尉(銘 イセキ)	1面	曙 町	昭和31. 4. 1	氣比神宮	
19	古文書	刀根古文書(文明元年から寛永二十一年まで)	116通	江 良	昭和31. 4. 1	刀根孝一	追加昭和33.3.28 追加昭和62.4.9
20	工芸品	梵鐘(時鐘 寛文五年紀)	1口	金ヶ崎町	昭和33. 3.28	永厳寺	
21	書 跡	紙本墨書 般若心経	1巻	三島町一丁目	昭和33. 3.28	私立敦賀郷土博物館	
22	典籍	敦賀志(石塚資元著)	4冊	三島町一丁目	昭和33. 3.28	私立敦賀郷土博物館	
23	歴史資料	旧鞠山藩領巨細書	5冊	三島町一丁目	昭和33. 3.28	私立敦賀郷土博物館	
24	歴史資料	紙本墨書 大日本史上表副本	1通	三島町一丁目	昭和33. 3.28	私立敦賀郷土博物館	
25	工芸品	脇差(表銘 肥前国住源宗次 裏銘 同州住人割物宗長) 桃蔦絵輪脇差拵(岩本昆寛作総金具)	各1口	杉 津	昭和33. 3.28	上野清子	
26	工芸品	赤銅七々子地総金具太刀拵	1口	蓬萊町 (相生町)	昭和33. 3.28	山本 優 (市立博物館寄託)	
28	彫 刻	木造 十八羅漢坐像	18躯	松島町	昭和33. 3.28	永建寺	
29	絵 画	絹本着色 十六羅漢図(額装)	15枚	松島町	昭和33. 3.28	永建寺	
30	絵 画	絹本着色 仏涅槃図	1幅	松島町	昭和33. 3.28	永建寺	
31	古文書	永建寺古文書(徳治三年から天文十年まで)	15通	松島町	昭和33. 3.28	永建寺	追加昭和62.4.9
32	工芸品	獅子・人物文綴織壁掛	1枚	松島町	昭和33. 3.28	永建寺	
34	絵 画	絹本着色 仏涅槃図	1幅	原	昭和34.10. 5	西福寺	
35	絵 画	絹本着色 観経曼荼羅圖(正宗分)	1幅	原	昭和34.10. 5	西福寺	
38	古文書	善妙寺古文書(嘉慶二年から元亀四年まで)	29通	神楽町一丁目	昭和34.10. 5	善妙寺	
39	考古資料	金ヶ崎経塚出土品	3点	金ヶ崎町	昭和34.10. 5	金崎宮	
40	考古資料	深山寺経塚出土品	2点	三島町一丁目	昭和34.10. 5	私立敦賀郷土博物館	
41	考古資料	向山古墳出土品	一括	三島町一丁目	昭和34.10. 5	私立敦賀郷土博物館	
42	歴史資料	唐仁橋山車	1基	相生町	昭和36. 3.20	相生町 (みなとつるが山車会館)	
43	絵 画	紙本着色 鏡引図六曲屏風(内海元紀筆)	1隻	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
44	絵 画	紙本着色 架鷹図六曲屏風(二代橋本長兵衛筆)	1双	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
45	絵 画	紙本着色 桃園三傑図・山水図(今村公龍筆)	各4面	三島町一丁目	昭和38. 7.15	石井惣平	
46	歴史資料	紙本墨画 門ヶ崎図(内海元孝筆)	1幅	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
47	歴史資料	紙本墨書 俳句・和歌懐紙(日能筆)	1幅	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
48	歴史資料	紙本墨画 燕園画賛(島計富筆)	1幅	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
49	歴史資料	版画 紙漉図(内海元孝画)	1幅	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
50	歴史資料	大名等休泊札及び加賀藩宿陣札	12枚	三島町一丁目	昭和38. 7.15	私立敦賀郷土博物館	
51	工芸品	剣 越前敦賀住藤原宗吉作(正保三年紀)	1口	三島町一丁目	昭和38. 7.15	八幡神社	
52	工芸品	人物図三所物 縁頭・目貫・小柄(一宮長常作)	1揃	角鹿町 (相生町)	昭和38. 7.15	中村吉男 (市立博物館寄託)	
53	工芸品	黒呂色塗輪脇差拵 縁頭(一宮長常作) 拵(古岡因幡介作)	1口	角鹿町 (相生町)	昭和38. 7.15	中村吉男 (市立博物館寄託)	
54	工芸品	黒漆内朱漆蔦絵膳(柿谷半月和歌・草花図)	1揃12客分	角鹿町 (相生町)	昭和38. 7.15	中村吉男 (市立博物館寄託)	
55	絵 画	紙本着色 架鷹図六曲屏風	1双	櫻 曲	昭和38. 7.15	細川謙司	
56	歴史資料	板絵着色 大江山酒呑童子図(鳴海鶴陰筆)	1枚	三島町一丁目	昭和40. 7. 5	八幡神社	
57	絵 画	板絵着色 神功皇后三韓出征図(内海元孝筆)	1枚	山	昭和40. 7. 5	稻荷神社	
58	工芸品	短刀 越州敦賀光行作(嘉慶二年紀)	1口	角鹿町 (相生町)	昭和40. 7. 5	中村吉男 (市立博物館寄託)	
59	歴史資料	紙本墨書 船中掟心得書	1巻	三島町一丁目	昭和40. 7. 5	私立敦賀郷土博物館	
60	書 跡	紙本墨書 長歌(山田正秋書)	1幅	三島町一丁目	昭和40. 7. 5	私立敦賀郷土博物館	
61	歴史資料	定広院墓地の石仏	33躯	疋 田	昭和42. 8. 9	定広院	
62	歴史資料	板絵着色 北前船図(文化元年紀)	1枚	三島町一丁目	昭和42. 8. 9	八幡神社	
63	絵 画	紙本着色 楓下遊鯉図六曲屏風(内海吉堂筆)	1双	相生町	昭和42. 8. 9	市立博物館	
64	歴史資料	紙本着色 敦賀町図	1葉	三島町一丁目	昭和42. 8. 9	私立敦賀郷土博物館	
65	歴史資料	紙本着色 敦賀県管内町図	17葉	三島町一丁目	昭和42. 8. 9	私立敦賀郷土博物館	
66	歴史資料	敦賀西小学校沿革誌	44冊	結城町	昭和42. 8. 9	敦賀西小学校	
67	歴史資料	紙本墨書 敦賀幸若屋敷図	1幅	三島町二丁目	昭和46.12.20	宇野美和	
68	歴史資料	陣羽織及び軍扇(武田耕雲斎所用)	2点	松原町 (相生町)	昭和46.12.20	松原神社 (市立博物館寄託)	
69	歴史資料	金ヶ辻子山車	1基	相生町	昭和46.12.20	みなとつるが山車会館	
70	古文書	敦賀馬借座役用記等諸記録	15冊	三島町一丁目	昭和48. 4.16	私立敦賀郷土博物館	

71-(1)	工芸品	寒山鉄拐図罽(一宮長常作)	1枚	三島町一丁目	昭和48. 4.16	私立敦賀郷土博物館	
71-(2)	歴史資料	紙本墨画 野菜園(一宮長常筆)	2枚	三島町一丁目	昭和48. 4.16	私立敦賀郷土博物館	
72	歴史資料	紙本着色 人物花鳥図画帳(橋本守忠筆)	1冊	三島町一丁目	昭和48. 4.16	私立敦賀郷土博物館	
73	歴史資料	紙本着色 武田耕雲斎画像(須木直正筆)	1幅	松原町(相生町)	昭和48. 4.16	松原神社(市立博物館寄託)	
74	彫刻	木造 十一面観世音菩薩立像	1軀	大蔵	昭和52. 2.24	大蔵寺	
76	彫刻	木造 地藏菩薩坐像	1軀	刀根	昭和52. 2.24	氣比神社	
77	彫刻	木造 持国天立像	1軀	刀根	昭和52. 2.24	氣比神社	
78	彫刻	木造 毘沙門天立像	1軀	刀根	昭和52. 2.24	氣比神社	
79	歴史資料	御所辻子山車	1基	元町(相生町)	昭和55. 8.15	元町(みなとつるが山車会館保存)	
80	彫刻	楓樹に雉子図・欄間(高村光雲作)	一对	相生町	昭和57.12.14	市立博物館	
81	絵画	絹本着色 阿弥陀二十五菩薩来迎図(額装)	1枚	原	昭和59. 3. 1	西福寺	
82	絵画	紙本着色 竹虎図襖	8面	原	昭和59. 3. 1	西福寺	追加平成18.4.12
83	絵画	紙本淡彩 松鶴図襖	4面	原	昭和59. 3. 1	西福寺	
84	絵画	紙本墨画 山水図襖	4面	原	昭和59. 3. 1	西福寺	
85	絵画	紙本着色 商山四皓図襖	8面 貼付 1面	原	昭和59. 3. 1	西福寺	
86	絵画	紙本着色 架鷹図六曲屏風(初代橋本長兵衛筆)	1隻	三島町一丁目	昭和59. 3. 1	私立敦賀郷土博物館	
87	絵画	紙本着色 不動明王図(一宮長常筆)	1幅	相生町	昭和59. 3. 1	市立博物館	
88	書跡	紙本墨書 大般若經第二百七十一(仁治二年五月廿二日 沙門良俊書写奥書)	1巻	相生町	昭和59. 3. 1	市立博物館	
89	歴史資料	版本 敦賀名勝詩(清化堂道碩著 元禄五年版)	1冊	相生町	昭和59. 3. 1	市立博物館	
91	絵画	紙本着色 花卉図襖・曲水図襖(内海元孝筆)	各5面	相生町	昭和61. 2.26	市立博物館	
92	絵画	紙本墨画 仙人図(初代橋本長兵衛筆)	6幅	相生町	昭和61. 2.26	市立博物館	追加昭和62.4.9
93	絵画	紙本墨画 枯木に鷹図(二代橋本長兵衛筆)	1幅	相生町	昭和61. 2.26	市立博物館	
94	工芸品	剣(銘 康継入道於武州江戸作之 寛永二十年五月吉日)	1口	相生町	昭和61. 2.26	市立博物館	
95	工芸品	薙刀(銘 越州敦賀住下総守藤原宗吉)	1口	堂	昭和62. 7.20	竹内幸一	
96	歴史資料	絹本着色 敦賀津園(内海元紀筆)	1幅	相生町	昭和62. 7.20	市立博物館	
98	書跡	紙本墨書 松尾芭蕉色ヶ浜遊記(神戸等執筆)	1幅	色浜(相生町)	平成元. 3.10	本隆寺(市立博物館寄託)	
99	絵画	紙本着色 一宮長常画像(勝山琢眼筆)	1幅	相生町	平成元. 3.10	橋本利幸(市立博物館寄託)	
102	絵画	絹本墨画 十一面観音像	1幅	原	平成2. 3.12	西福寺	
103	工芸品	太刀(一越州敦賀住盛重)	1口	相生町	平成2. 3.12	市立博物館	
105	建造物	沓見宝塔(石造)	1基	沓見	平成8. 6.11	沓見区長	
106	建造物	小刀根トンネル	1基	刀根	平成8. 6.11	中日本高速(敦賀市)	
107	建造物	西福寺境内建物	8棟	原	平成10. 1.13	西福寺	
108	古文書	敦賀酒屋仲間文書(元和元年から明治十年まで)	85点	相生町	平成13. 7.18	那須伸次	
109	建造物	永賞寺九重塔(石造九重塔)	1基	栄新町	平成13.10.10	永賞寺	
110	絵画	紙本着色 架鷹図六曲屏風(初代橋本長兵衛筆)	1双	相生町	平成14. 7.10	市立博物館	
111	典籍	氣比宮社記(平松周家著)	9冊	曙町(相生町)	平成20.11.14	氣比神宮(市立博物館寄託)	
112	考古資料	大掠神社経塚出土品	一括	結城町	平成28. 6. 1	敦賀市	
113	歴史資料	鐘塚 附 版本 白鳥集	1基	金ヶ崎町	平成28. 6. 1	金前寺	

民俗文化財 4件

3	無形民俗文化財	松島さし踊り		松島町	昭和55.11.15	松島さし踊り保存会	
4	無形民俗文化財	すてな踊り		敦賀市	昭和59. 3. 1	郷土民謡普及特別委員会	
5	無形民俗文化財	氣比神社の春祭り・秋祭り		刀根	平成10. 1.13	刀根区長	
6	無形民俗文化財	初午祭り		山区	平成10. 3.11	山区長	

記念物 41件

1	史跡	駐筆の碑		松原公園	昭和29.12.21	敦賀市	
2	名勝	幸若遺跡庭園		三島町二丁目	昭和31. 4. 1	宇野美和	
3	天然記念物	奥麻生・日吉神社のケヤキ		奥麻生	昭和31.12.18	日吉神社	
4	天然記念物	長者屋敷のスキ		奥麻生	昭和31.12.18	奥麻生区長	
5	天然記念物	鉢伏山のカツラ		阿曾	昭和31.12.18	加土益司	
6	天然記念物	赤崎・八幡神社のカゴノキ		赤崎	昭和31.12.18	八幡神社	
7	天然記念物	金山彦神社のイチヨウ		金山	昭和31.12.18	金山彦神社	
9	天然記念物	金山彦神社のハゼノキ		金山	昭和31.12.18	金山彦神社	
12	天然記念物	関・八幡神社のツバキ 1群		関	昭和31.12.18	八幡神社	
16	名勝	常宮のオーム岩		常宮	昭和34.10. 5	常宮区	
18	史跡	武田耕雲斎本陣跡		新保	昭和34.10. 5	敦賀市	
19	史跡	瓜生保戦死の地		檜曲	昭和36. 3.30	檜曲区	
20	史跡	明治天皇檜曲御小休所		檜曲	昭和38. 7.15	宗願寺	
21	天然記念物	甘楽園のヤマモモ		市野々	昭和40. 7. 5	敦賀市	
23	天然記念物	永覚寺のイブキ		金ヶ崎町	昭和48. 4.16	永覚寺	
25	天然記念物	小森神社のヤブニツケイ		大比田	昭和48. 4.16	小森神社	
27	天然記念物	谷・八幡神社のスダジイ		谷	昭和48. 4.16	八幡神社	
28	天然記念物	奥麻生・菅野氏のイチイ		奥麻生	昭和48. 4.16	菅野喜祐	
29	天然記念物	氣比神社のツガ		刀根	昭和48. 4.16	氣比神社	
30	天然記念物	久豆弥神社のスキ	2株	沓見	昭和52. 2.24	久豆弥神社	

33	天然記念物	曾々木・八幡神社のスギ	2株	曾々木	昭和56.11.19	八幡神社	
34	天然記念物	市橋・日吉神社のスタジイ		市橋	昭和56.11.19	日吉神社	
35	天然記念物	大比田観音堂のタブノキ		大比田	昭和56.11.19	中山雅夫	
36	天然記念物	小森神社のケヤキ		大比田	昭和56.11.19	小森神社	
37	天然記念物	貴船神社のタブノキ		元比田	昭和56.11.19	貴船神社	
39	天然記念物	小河・寺谷氏のウラジロガシ		小河	昭和56.11.19	寺谷 勉	
41	天然記念物	西福寺のスタジイ	2株	原	昭和58. 4. 1	西福寺	
42	天然記念物	新善光寺のキャラボク		井川	昭和58. 4. 1	新善光寺	
43	天然記念物	曾々木・八幡神社のアカガシ		曾々木	昭和58. 4. 1	八幡神社	
44	天然記念物	氣比神宮のユーカリノキ		曙 町	昭和58. 4. 1	氣比神宮	
45	天然記念物	田結神社のスタジイ	2株	田 結	昭和58. 4. 1	田結神社	
47	史 跡	衣掛山1号墳		堂	平成 元. 3.10	小倉幸春	
48	天然記念物	野坂・柴田氏庭園のヤマモモ		野 坂	平成 元. 3.10	柴田 淨	
49	天然記念物	山・稲荷神社のウラジロガシ		山	平成 元. 3.10	稲荷神社	
50	天然記念物	甘棠園のクスノキ		市野々	平成 元. 3.10	敦賀市	
51	天然記念物	杉箸・山神社のトチノキ		杉 箸	平成 2. 3.12	山神社	
52	天然記念物	筋生野・鶴神社のカゴノキ		筋生野	平成 5. 1.12	鶴神社	
54	史 跡	市野々柴田氏屋敷		市野々	平成11. 2. 1	敦賀市	
55	天然記念物	国立福井病院のユーカリノキ	1株	桜ヶ丘	平成16. 6. 9	独立行政法人国立病院機構福井病院	
56	史 跡	宮山古墳群		山 泉	平成18. 4.12	山泉共有地組合	
57	名勝	門ヶ崎		白 木	平成25.4.12	白木区	

登録文化財 15件

種 別	区別名称及び員数	所 在 地	指定年月日	管 理 者	備 考
登録有形文化財	建造物 旧紐育スタンダード石油会社倉庫 北棟 1棟	金ヶ崎	平成21. 1. 8	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧紐育スタンダード石油会社倉庫 南棟 1棟	金ヶ崎	平成21. 1. 8	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧紐育スタンダード石油会社倉庫 煉瓦塀 1棟	金ヶ崎	平成21. 1. 8	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧敦賀倉庫株式会社新港第一号・第二号・第三号倉庫 1棟	蓬萊町	平成26. 4.25	㈱若狭物流	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線椋曲トンネル 1基	椋 曲	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線葉原トンネル 1基	葉原～阿曾	平成28. 2.25	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線鮎ヶ谷トンネル 1基	阿 曾	平成28. 2.25	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線首路地谷トンネル 1基	阿曾～杉津	平成28. 2.25	敦賀市	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線巖山谷暗渠 1基	横 浜	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線第一観音寺トンネル 1基	横浜～大比田	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線第二観音寺トンネル 1基	大比田	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線曲谷トンネル 1基	大比田	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線芦谷トンネル 1基	大比田～元比田	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線伊良谷トンネル 1基	元比田	平成28. 2.25	福井県	
登録有形文化財	建造物 旧北陸線山中トンネル 1基	元比田 ～南越前町山中	平成28. 2.25	福井県	

基本方針（４）スポーツの振興及び推進

子どもたちの体力・運動能力、運動習慣

◆ 現況と課題

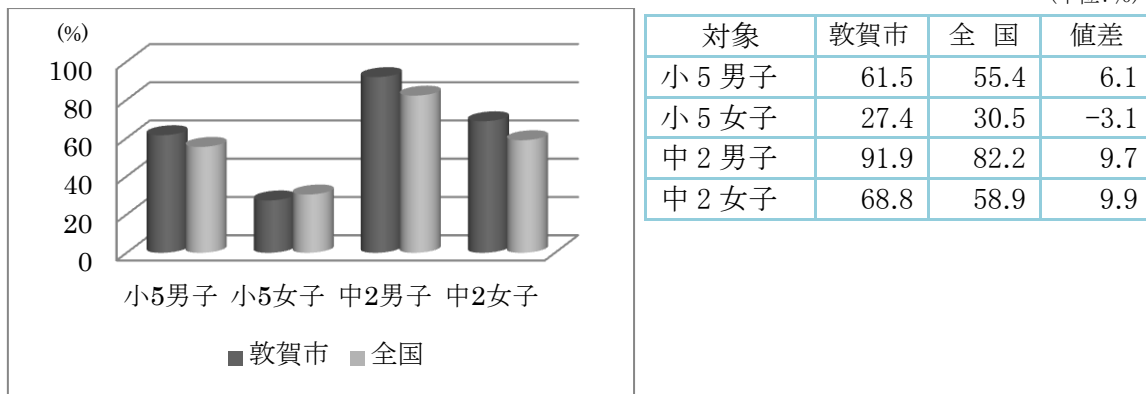
全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が顕著になってきました。

このような中、本市においては、1週間の総運動時間が420分（平均1日1時間）以上の子どもが小学校5年生男子61.5%、女子27.4%、中学校2年生男子91.9%、女子68.8%となり、小学校女子は全国平均をわずかに下回っています。

また、中学校2年生女子では、ほとんど運動していない子どもの割合が19.2%と、女子の運動しない割合が高いという現況にあります。

■ 1週間の総運動時間が420分（平均1日1時間）以上の子どもの割合

(単位:%)



[出典]平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

運動部活動・スポーツクラブ

◆ 現況と課題

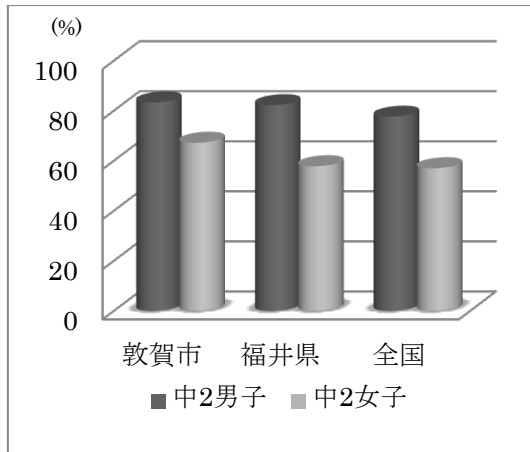
運動部活動は、生涯にわたって親しむことができるスポーツを見いだす格好の機会であるとともに、体力の向上や健康の増進にも効果的です。

このような中、本市における運動部活動への所属率は、中学校2年生男子83.3%、女子67.2%、同じく市内のスポーツクラブへの所属率も男子17.3%、女子13.5%と、どちらも全国、県の平均を上回っています。

また、中学校卒業後も自主的に運動をしたいと考えている子どもの割合も、中学校2年生男子69.2%、女子54.7%と、全国、県の平均を上回っており、大人になってからもスポーツライフを楽しみたいと考えている子どもが多いことが分かります。

■ 中学校2年生の運動部活動への所属率

(単位：%)



対象	敦賀市	福井県	全 国
中2男子	83.3	82.2	77.6
中2女子	67.2	57.8	57.0

[出典]平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

運動・スポーツの実施

◆ 現況と課題

「平成30年福井国体に向けたスポーツに関する県民意識調査」では、運動・スポーツをする理由の多くは、健康・体力づくりのためで、スポーツによる健康増進に対する関心が高いことがうかがえます。

しかし、「週1回以上何らかのスポーツを行った成人」の割合は、36.8%（平成18年調査から5.5%減少）で、そのうち42.0%は体操やウォーキングなどの軽スポーツしか実施していません。

また、スポーツをしなかった理由として、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」が31.7%、「機会がなかった」が14.5%、「運動・スポーツが好きでないため」が8.6%となっています。地域におけるスポーツ振興に対する期待では、「年齢層にあったスポーツの開発・普及」が最も多く、次に多かったのは「指導者の養成」「施設の新設・改修」でした。

これらのことから、時間や場所を工夫した個人の主体的な取り組みを推進するとともに、職場・地域・家庭において、それぞれのライフステージに応じたスポーツに取り組める環境を整備することが大切です。

本市及びわが国を取り巻くスポーツ振興の状況

◆ 現況と課題

平成30年に、福井県にて、国内最大のスポーツの祭典である第73回国民体育大会及び第18回全国障害者スポーツ大会が「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」の愛称で開催されます。

本市においては、平成26年3月26日に「第73回国民体育大会敦賀市準備委員会※11」を設立し、福井国体・大会の成功に向けて準備を進めています。

※11 第73回国民体育大会敦賀市準備委員会：平成27年11月21日に「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会」へ改組

福井国体・大会の開催は、競技スポーツや生涯スポーツをはじめとする、様々なスポーツ振興を一層前進させる契機となるものと考えます。

また、わが国全体として、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」においては、「国民の『健康寿命』の延伸」が定められ、健康づくりが大きな政策的なテーマとして掲げられ、健康づくりとしてのスポーツ振興が求められているといえます。

そして、高齢化のさらなる進行により、医療・介護需要の増大が予見される中、健康寿命の延伸を目的とする高齢者の体力づくり、健康づくりが社会的な要請として重視されています。

◆ 目指すべき方向性

基本施策⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興

- 福井国体の開催を、これまでの本市のスポーツ振興における取り組みを一層前進させる契機として捉え、得られた成果や知見等を国体後の本市の取り組みに活かすことにより、一層のスポーツ振興を図ります。
- 国体をはじめ各種全国大会等で活躍できる選手の育成を目指し、個人や団体を奨励することにより、スポーツ振興の発展と競技力の向上を図ります。

基本施策⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興

- 高齢化が進行する中、健康寿命を延伸するため、一層の生きがいづくりと健康づくりとして、生涯にわたり豊かなスポーツライフが実現できる環境づくりを行います。
- 生涯スポーツへの関心や意識を高め、スポーツ人口の裾野を拡大するため、各種スポーツ教室や講座内容の一層の充実を図り、誰もが気軽に取り組めるニュースポーツや参加しやすいスポーツの普及を図ります。



平成28年度 野坂山市民登山

■ 主要な関連イベント等の参加者数 [平成27年度]

野坂山登山	:	289人
スポーツ教室	:	延2,162人 (21教室、113回開催)
敦賀マラソン大会	:	3,880人
出前講座 (ニュースポーツ)	:	延 827人 (19回開催)

基本施策⑱ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進

- 地域社会における一体感の醸成と活力向上を推進するため、スポーツを通じたつながりや交流を深め、スポーツをささえる団体や組織等の基盤を強化します。
- スポーツを通し、生活・学習習慣の乱れや携帯型情報端末の依存を防止することにより、心身のストレス解消や爽快感、達成感、連帯感等の精神的充足を促進するとともに、青少年の健全育成に取り組みます。また、小学校から高等学校の期間に、成長段階に応じた適切な支援を行います。
- 競技スポーツに打ち込む競技者の活躍等による誇りや喜び、夢や感動の気持ち醸成し、スポーツへの関心を高めるため、年齢、性別、志向、障がいの有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツを楽しむことのできる環境を整えます。



第36回 敦賀マラソン大会

基本施策⑳ スポーツ施設の整備

- 生涯にわたるスポーツへの親しみの醸成、健康の保持増進と体力づくり、豊かな人生を支援するため、施設の整備・充実を行います。
- スポーツ振興の基盤を整えるため、福井国体の会場となる施設の改修・整備を行うとともに、老朽化施設等について市民ニーズと活動の実態を勘案した適切な対応を図ります。



敦賀市きらめきスタジアム

計画目標	現状 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
地区体育館等のスポーツ施設の利用者を増加させます。	172,937人	200,000人
総合運動公園の利用者を増加させます。	243,955人	250,000人

敦賀市教育委員会 委員名簿

役職	氏名
教育長	上野 弘
委員（教育長職務代理者）	神谷 敬一郎
委員	徳本 範子
委員	佐々木 與栄
委員	岸本 松則

敦賀市教育力向上会議 委員名簿

分野	所属	役職	氏名	
学識経験者	福井大学大学院	教授	松木 健一	◎
	白梅学園大学・大学院 （中央教育審議会）	教授 （委員）	無藤 隆	
	福井大学大学院	准教授	岸野 麻衣	
関係団体の 役職員	青少年健全育成敦賀市民会議	副会長	大野 富夫	○
	敦賀市文化協会	副会長	柴田 邦彦	
	敦賀市体育協会	副会長	遠藤 鉄雄	
	敦賀商工会議所青年部	会長	河野 渡	
	福井テレビジョン放送（株）	代表取締役社長	光野 稔	
関係行政機 関職員	早翠幼稚園（社会教育委員の会）	園長（委員長）	徳本 達之	
	敦賀市PTA連合会	理事	野元 賢一	
	小学校校長会（中郷小校長）	会長	山本 功	
	中学校校長会（栗野中校長）	会長	原 洋一	

◎ 委員長

○ 副委員長

計画の策定経過

開催年月日	会議名称等
平成27年12月22日	第2回総合教育会議
平成28年 1月14日	第1回教育委員会
平成28年 2月 4日	第2回教育委員会
平成28年 2月16日	第3回総合教育会議
平成28年 3月 1日	第3回教育委員会
平成28年 3月22日	敦賀市教育大綱策定
平成28年 5月31日	第6回教育委員会
平成28年 6月 2日	第1回総合教育会議
平成28年 6月17日	第1回教育力向上会議
平成28年 7月14日	第7回教育委員会
平成28年 8月 4日	第8回教育委員会
平成28年 8月 5日 ～8月16日	計画（案）に関するパブリックコメントの募集 （応募意見 19件）
平成28年 8月24日	第2回教育力向上会議
平成28年 9月 1日	第9回教育委員会
平成28年 9月29日	第10回教育委員会
平成28年 9月30日	計画策定・公表

敦賀市教育振興基本計画

発行年月日 平成28年9月30日

編集・発行元 敦賀市教育委員会（事務局：教育政策課）

〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号

TEL：(0770) 22-8149 FAX：(0770) 23-6944

e-mail：k-seisaku@ton21.ne.jp